



卒業式の予行練習をしました

3月12日(月)に第77回卒業式の予行練習を行いました。

コロナ禍のため昨年までは、高学年の在校生が参加しての卒業式でした。そのため今の1～4年生の在校生は卒業式に出席するのは初めてになります。久しぶりに全校児童が参加するので、練習も大変だろうと思っていましたが、卒業生の真剣な態度に在校生も刺激を受け、練習に取り組むことができました。在校生も卒業式に出席できることがうれしく張り切っていたのではないかと思います。緊張感が漂う体育館で1時間程過ごしたことは在校生にとって今後につながる良い経験でした。

6年生は2月末から少しずつ練習を重ねました。最初の頃は、緊張して卒業証書を受け取る所作がうまくできないこともありましたが、予行練習では自信をもってできていました。当日の主役は、皆さんです。堂々と卒業証書を受け取ってください。

(小学校の卒業式がいちばん練習をします。中学校や高校は、それほど練習をしません。小学生以上に立派にできます。それは、小学校の時に練習した式の所作が役に立っているのです。大人になっても使えることを学んだのです。)



卒業証書

谷川俊太郎

ひろげたままじゃ持ちにくいから
きみはそれをまるめてしまう
まるめただけじゃつまらないから
きみはそれをのぞいてみる
小さな丸い穴のむこう
笑っているいじめっ子
知らんかおの女の子
光っている先生のはげ頭
まわっている春の太陽
そしてそれらのもっとむこう
星雲のようにこんとんとして
しかもまぶしいもの
教科書にはけっしてのっついていず
蛍の光で照らしても
窓の雪ですかしてみても
正体をあらわさない
そのくせきみをどこまでも
いざなうもの
卒業証書の望遠鏡でのぞく
きみの未来

6年生のみなさん卒業おめでとう

いよいよ月曜日、18日が卒業式です。

毎朝、皆さんの登校の様子を見守っていると、ランドセルが、ずいぶん小さく見えるなあと感じていました。それほど皆さんが日々たくましく成長したのだと思います。

校長室の前に谷川俊太郎さんの「卒業証書」という詩を紹介しています。

18日に卒業証書を手にした皆さんにどんな未来が見えてくるのが楽しみです。

土日は、卒業式に備えてゆっくり休んでください。

